

# 南関東地区大会特別賞評価規定

2011/09/02

南関東地区大会審査委員会

## 目 次

1.	はじめに.....	2
2.	南関東地区大会特別賞評価の方法.....	3
3.	評価対象振る舞いの評価方式（フェールセーフを除く）.....	4
4.	フェールセーフの評価方式.....	5
5.	試走会 2 における検証手順.....	6
6.	評価対象振る舞いの判断基準.....	7
7.	チェックシート.....	10
8.	例.....	11
	例 1 アウトコース（1）.....	11
	例 2 アウトコース（2）.....	12
	例 3 インコース（1）.....	13
	例 4 インコース（2）.....	14
	補足 その他の係数と結果.....	15
9.	改版履歴.....	16

## 1. はじめに

モデル図にボーナスタイム獲得のための走行性能が表現されていますが、大会ではチャレンジしないチームが出てくるのはなぜなのか。表現どおりに実現できていないのか？それとも戦略なのか？

南関東地区大会審査委員会では「モデル図から読み取れる予測性能」の審査結果を覆すのではないかと危惧しました。そこで、モデル図に表明した走行性能を積極的にチャレンジしてもらうための**南関東地区大会特別賞評価規定**を定めました。この評価規定により、全国ルールとは別の基準にて順位づけし、特別な賞の選考に用います。

2011年はベーシックステージ、ボーナスステージの2つに分かれています。この2つのステージをスマートに走行してもらうことを期待して、各ステージに時間制約を設けます。

ベーシックステージの走行タイムの結果によって、タイムアタックポイントという独自のボーナスポイントを付与し、またボーナスステージの終了タイムの結果によって、南関東地区大会特別賞評価を決定します。

なお、走行性能には難所走行以外にもコースを制覇するための性能表明はありますが、「振る舞いを見て、実装されていると判断できるか」、「チーム毎に異なる性能表明を、均一な、あるいは相対的な評価とできるか」の課題がありますので、ETソフトウェアデザインロボットコンテスト競技規約（以後、**全国ルール**と呼ぶ）で規定されているボーナスステージのボーナスタイムを獲得する振る舞いのうち、シーソー通過（シングル／ダブル）・階段通過・ルックアップゲート通過・ET相撲・ガレージイン（以後、**評価対象振る舞い**と呼ぶ）以外の性能表明は、南関東地区大会特別賞評価の対象外とします。

また、**全国ルール**で推奨しているフェールセーフ機能に独自のボーナスポイントを与え、**評価対象振る舞い**に加え、南関東地区大会特別賞評価の対象とします。

### 南関東地区大会審査委員会の期待

ソフトウェア・デザイン・コンテストであることの再認識  
大会での難所走破および完走率の増加  
大会での成功体験による気持ち良さの実感  
ものづくりの楽しさを実感できる大会に

## 2. 南関東地区大会特別賞評価の方法

モデル審査・試走会2・南関東地区大会の結果で評価します。各回での確認項目を表2示します。

- モデル審査で評価対象振る舞いの表明があるか否か確認します。
- モデル図表明があれば試走会2で振る舞いを検証します。
- 南関東地区大会でモデル図に表明した振る舞いにチャレンジした結果を確認します。
- 全国ルールのボーナスポイントに係数(表3参照)を乗じたボーナスポイント(以後、**特別賞ポイント**と呼ぶ)を算出します。
- ベーシックステージの走行タイムの結果からタイムアタックポイントという特別賞ポイントを付与します。基準となる走行タイムは試走会1で実行委員ダミーカーのインコース、アウトコースの各タイムの0.8掛けとします。この他にも走行タイム結果にタイムアタックポイントを付与します。これを表1に示します。ただし、試走会2でベーシックステージの完走が確認されていることが条件です。

表1 ベーシックステージのタイムアタックポイント

ベーシックステージ走行タイム	タイムアタックポイント	備考
インコース 26.5秒未満	15秒	試走会1の結果：33秒 ×0.8=26.4秒
アウトコース 27.3秒未満	15秒	試走会1の結果：34秒 ×0.8=27.2秒
インコース 26.5秒以上～35秒未満	10秒	
アウトコース 27.3秒以上～35秒未満	10秒	
イン・アウトコース 35秒以上～40秒未満	5秒	

- モデル審査結果と、南関東地区大会の走行タイムから**特別賞ポイント**を減算したリザルトタイムを用いて、全国ルールの総合順位計算方式に準じて順位を決定します。
- この順位を、南関東地区大会審査委員会独自基準の賞を決定するのに用いることとします。

なお、以下のことに注意してください。

- 試走会2で振る舞い確認した箇所にチャレンジしなくても構いませんが、チャレンジしない場合は**特別賞ポイント**が少なくなります。
- ボーナスステージのインコース、アウトコースの第1難所以降で途中終了(リタイア相当)しても後続する試走会2で確認した評価対象振る舞いに対し**特別賞ポイント**を与えます。なお、ベーシックステージでリタイアした場合は、特別賞ポイント付与対象外とします。
- ボーナスステージで、スタートから2分を超えてゴールできない場合、あるいはゴールまで走行可能な状態でありながら、2分を超えてのゴールを回避するためにリタイア宣言した場合は、ボーナスステージの特別賞ポイント付与対象外とします。
- 失格は南関東地区大会特別賞評価の対象外とします。
- 「シーソーダブル」は実行したか否か判断がつかない場合があるかも知れませんが、南関東地区大会当日の調整試走後の車検時に、審査委員へ表明してください。表明がなかった場合は走行結果に関係なく「南関東地区大会チャレンジ：なし」で評価します。表4の注1となります。

表2 確認項目

評価項目	説明
モデル図表明	モデル審査で <b>評価対象振る舞い</b> の表明(妥当性)を確認します。
試走会2振る舞い確認	試走会2の模擬レース時、試走会2の振る舞い確認時間のいずれかに <b>評価対象振る舞い</b> に成功したことを確認します。
南関東地区大会チャレンジ	<b>評価対象振る舞い</b> にチャレンジしたかどうかを確認します。
南関東地区大会事象発生	走行体が転倒/走行体の持ち上げる事象が発生したかを確認します。

南関東地区大会の結果の種類と、**特別賞ポイント**の算出に使う係数を表3に示します。

表 3 結果、係数

確認項目	説明
結果	フェールセーフ以外：成功、失敗、リタイア（※ <u>全国ルール</u> の判断と同じです） フェールセーフ：機能した、機能しない
係数	<u>全国ルール</u> のボーナスポイントに乗ずる係数（ボーナスステージのゴールタイムにより異なる） 成功、失敗またはリタイア、チャレンジなし等の結果の係数があります。

### 3. 評価対象振る舞いの評価方式（フェールセーフを除く）

表 4 評価対象振る舞いの評価方法（フェールセーフを除く）

振る舞い	モデル 図表明	試走会 2 振る舞い 確認	南関東地 区大会チ ャレンジ	結果	係数	備考
シーソーシングル通過	あり	成功	あり	成功	2.0	ボーナスステージを <b>1分30秒未満</b> でゴールし、信頼性が高く、実証した
シーソーダブル通過	あり	成功	あり	成功	1.5	ボーナスステージを <b>1分30秒以上、2分以下</b> でゴールし、信頼性が高く、実証した
ルックアップゲート通過	あり	成功	あり	成功	1.5	ボーナスステージでリタイアした場合、成功している難所の係数
ガレージイン	あり	成功	あり	失敗またはリタイア	0.5	南関東地区大会で結果は伴わなかったが、チャレンジを評価。 ※ET相撲(注2)
注2： ET相撲で失敗した場合は7秒を付与。	あり	成功	なし	—	0.1	回避したが試走会2で振る舞いが確認され、少なくとも性能が満足されていることを評価 ※ET相撲(注3) ※シーソーダブル「宣言なし&失敗」も該当。
注3： 回避した場合は1秒付与。	あり	成功	宣言なし	成功	1.0	注1：シーソーダブルのみ。 <u>全国ルール</u> と同じ判定
	あり	失敗	あり	成功	1.0	<u>全国ルール</u> と同じ判定
	あり	失敗	あり	失敗またはリタイア	0.0	<u>全国ルール</u> と同じ判定
	あり	失敗	なし	—	0.0	<u>全国ルール</u> と同じ判定
	なし	—	あり	成功	1.0	<u>全国ルール</u> と同じ判定
	なし	—	あり	失敗またはリタイア	0.0	<u>全国ルール</u> と同じ判定
	なし	—	なし	—	0.0	<u>全国ルール</u> と同じ判定

また、途中でリタイアした場合、後に続く評価対象振る舞いに対し、[表 5](#)の評価を適用します。

**表 5** リタイア後の評価対象振る舞いの評価方法（フェールセーフを除く）

振る舞い	モデル 図表明	試走会 2 振る舞い 確認	南関東地 区大会チ ャレンジ	結果	係数	備考
ベーシックステージ でリタイアした場合は対象外。 ボーナスステージの インコース、アウト コースの第1難所で リタイア相当（ボナ スステージ終了） 以降の残りの振る舞 い（階段通過、ET相 撲、ガレージイン）	あり	成功	—	—	0.5	試走会 2 で振る舞いが確認でき ているので 1/2 を付与
	あり	失敗	—	—	0.0	試走会 2 で振る舞いが確認でき ていない
	なし	—	—	—	0.0	評価対象としない

#### 4. フェールセーフの評価方式

全国ルールでは、フェールセーフについて「転倒などにより走行体のバランスが取れなくなった場合に、両タイヤの駆動モータを外部からの操作をしないで、2 秒以内に停止させる」と規定しています。

フェールセーフ機能をモデル図に表明してください。[表 6](#)の通り、南関東地区大会特別賞評価ではフェールセーフを評価対象とし、ボーナスタイムを 5 秒与えます。

**表 6** フェールセーフ評価方式

2011 オプション	モデル 図表明	試走会 2 振る舞い 確認	南関東地区 大会 事象発生	結果	係数	備考
フェールセーフ ボーナスタイム 5 秒	あり	成功	あり	機能 した	1.0	信頼性が高く、実証した。 転倒しない設計が望ましい ので計数を 2 倍にはしない。
	あり	成功	あり	機能 せず	-1.0	信頼性の極端な低下。 フェールセーフが機能しな いので重大と考える。
	あり	成功	なし	—	1.0	期待通り振る舞えば、フェ ールセーフが発動すること はない。 試走会 2 で振る舞いが確認 できているので付与。
	あり	失敗	あり	機能 した	0.6	3 秒
	あり	失敗	あり	機能 せず	0.0	元々組み込まれていないと 判断
	あり	失敗	なし	—	0.0	判断できない
	なし	—	あり	機能 した	0.0	モデル図表明ないので評価 対象外
	なし	—	あり	機能 せず	0.0	元々組み込まれていないと 判断
	なし	—	なし	—	0.0	判断できない

## 5. 試走会 2 における検証手順

振る舞い検証は図 1 の確認開始位置より手前から走行開始することによって行うこととします。

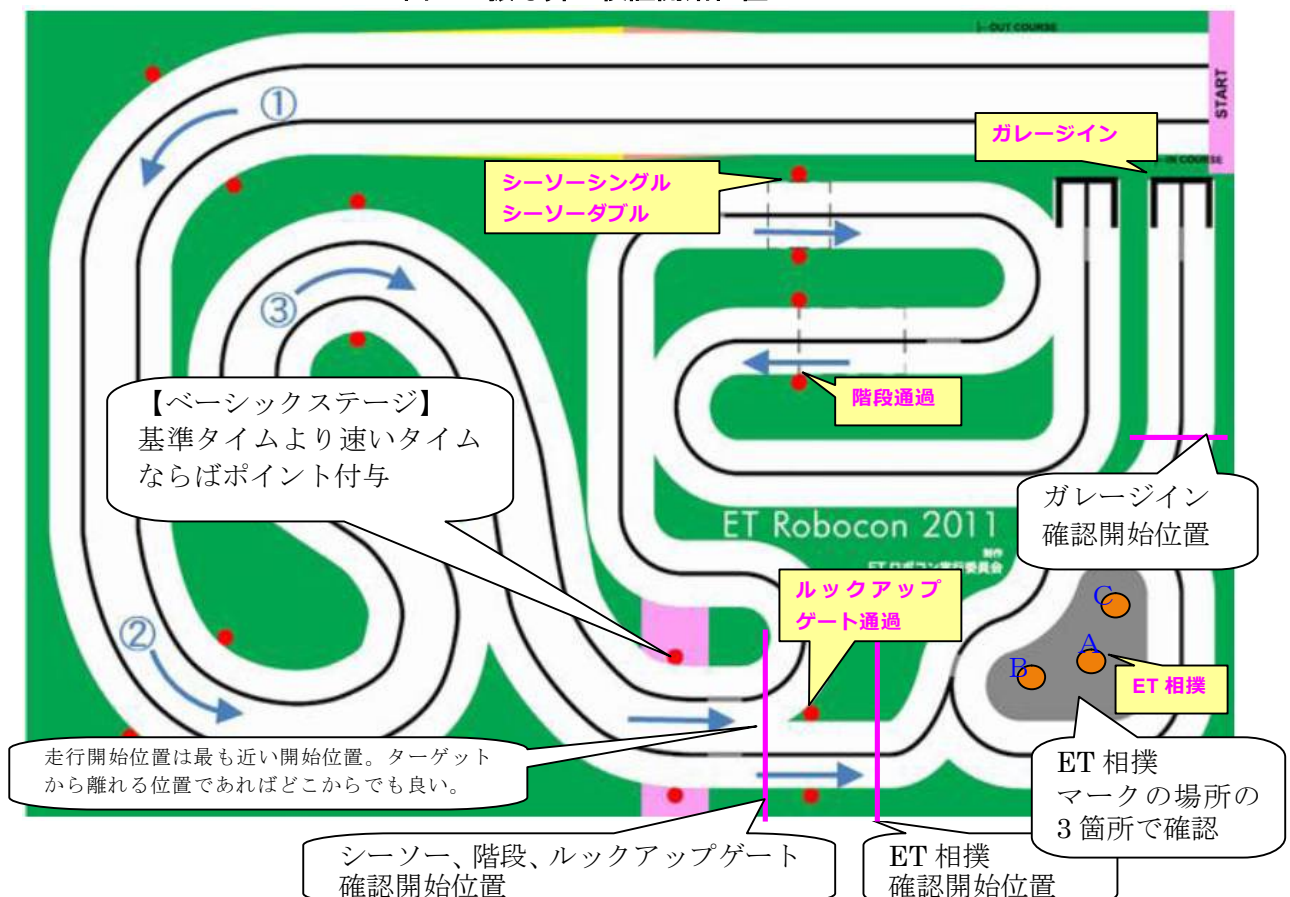
振る舞いの成功／失敗の判断基準は、「[評価対象振る舞いの判断基準](#)」の「試走会 2」欄の通りです。

- 試走会 2 の模擬レースの結果も振る舞い検証結果として記録します。
- 模擬レース後に振る舞い検証時間を用意します。その時間内に、個々の振る舞いに対して最高 2 回の振る舞い検証ができます。また 1 回あたりの振る舞い検証の制限時間を表 7 の通りとします。
- もちろん、通常のスタート地点からスタートして、複数の難所を連続して検証確認を受けても構いません。その場合は便宜上、各振る舞い箇所を 1 回検証したカウントとします。
- 振る舞い箇所の振る舞い検証で順番待ちがなければ、続けてトライできます。しかし、順番待ちがあれば、つぎのチームに代わっていただきます。
- 振る舞い検証と通常の試走は混在して実施します。
- ガレージインはアウトコースだけ、振る舞い確認します。
- 階段通過の振る舞い確認はシーソー通過確認と一緒にいきます。ただし、救済策としてミニサンプルコースを利用した階段通過の振る舞い確認を認めます。この階段はレプリカ階段となります。
- ベーシックステージのインコース、アウトコースの完走を確認します。

表 7 振る舞いの制限時間

振る舞い箇所	制限時間
ルックアップゲート	確認開始位置通過から 20 秒以内
ET 相撲	確認開始位置通過から 1 分以内
シーソーシングル	確認開始位置通過から 30 秒以内
シーソーダブル	確認開始位置通過から 40 秒以内
階段	確認開始位置通過から 1 分以内
ガレージイン	確認開始位置通過から 30 秒以内
フェールセーフ	走行体が転倒／走行体を持ち上げて から 5 秒以内

図 1 振る舞い検証開始位置



## 6. 評価対象振る舞いの判断基準

振る舞い	南関東地区大会	試走会 2
シーソーシングル通過	<p>【成功／失敗】 <u>全国ルール</u>と同じ。</p> <p>【チャレンジ有】 シーソーに乗ろうとシーソーと接触した。</p>	<p>【成功】 少なくとも走行体の片輪がシーソーに乗り、ゲート通過後、シーソーから降りてコントロールできている状態。</p> <p>OK 例 倒立状態で1秒くらいの間、静止している。 つぎの状態へ移行し、正常なコースを走行している。</p> <p>【失敗】 上記成功以外。</p> <p>NG 例 シーソーから降りた直後に倒れた。 シーソーから降りた直後に前後に激しく動いて、しばらくしても走行に移らない。 シーソーから降りた直後に異常に走り出し、転倒した。 つぎの状態へ移行しているように見えるが、コースを逸脱して走行している。</p>
シーソーダブル通過	<p>【成功／失敗】 <u>全国ルール</u>と同じ。</p> <p>【チャレンジ有】 事前表明があり、シーソーダブルの振る舞いが見て取れる。 事前表明は必要です。失敗した場合のポイントがシングルと変わるため。 「チャレンジ有」判断のシーソーダブルの振る舞いは、競技規約 P22 の②から③までの途中の振る舞いあり。</p>	<p>【成功】 左記に同じ</p> <p>【失敗】 上記成功以外。</p>

振る舞い	南関東地区大会	試走会 2
階段通過	<p><b>【成功／失敗】</b> <u>全国ルール</u>と同じ。</p> <p><b>【チャレンジ有】</b> 階段に乗ろうと階段と接触した。</p>	<p><b>【成功】</b> 少なくとも走行体の片輪が階段に乗り、ゲート通過後、階段から降りてコントロールできている状態。</p> <p><b>OK 例</b> 倒立状態で1秒くらいの間、静止している。 つぎの状態へ移行し、正常なコースを走行している。</p> <p><b>【失敗】</b> 上記成功以外。</p> <p><b>NG 例</b> 階段から降りた直後に倒れた。 階段から降りた直後に前後に激しく動いて、しばらくしても走行に移らない。 階段から降りた直後に異常に走り出し、転倒した。 つぎの状態へ移行しているように見えるが、コースを逸脱して走行している。</p> <div data-bbox="1621 339 2058 464" style="border: 1px solid green; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>ミニサンプルコースを使用して、レプリカ階段での振る舞い確認も認めます。</p> </div>
ルックアップゲート	<p><b>【成功／失敗】</b> <u>全国ルール</u>と同じ。</p> <p><b>【チャレンジ有】</b> 車高を低くし、ルックアップゲートを通過しようとした。例えば、尻尾を使って腰を落とした。</p>	<p><b>【成功】</b> 左記に同じ</p> <p><b>OK 例</b> ルックアップゲートを通過後、2輪倒立振子状態に戻ったが、下がってルックアップゲートに掛かったが正常な走行に戻った。</p> <p><b>【失敗】</b></p> <p><b>NG 例</b> 車高の高さを調整せず、そのままルックアップゲートに衝突した。 車高の高さを調整しているが、ルックアップゲートに掛かり通過できない。 ルックアップゲートを通過後、2輪倒立振子状態に戻ったが、下がってルックアップゲートに掛かり走行不能となった。</p>

振る舞い	南関東地区大会	試走会 2
E T相撲	<p><b>【成功／失敗】</b>  <u>全国ルール</u>と同じ。</p> <p><b>【チャレンジ有】</b>  ターゲットに向かっている。  E Tゾーンに入ってターゲットを探している。</p>	<p><b>【成功】</b>  左記と同じ</p> <p>※E T相撲の振る舞い確認は、3箇所所定の位置（A、B、C）での「成功」の振る舞いが確認できれば、試走会 2 での振る舞い確認成功と判断する。所定位置は「<a href="#">図 1</a> 振る舞い検証開始位置」を参照のこと。</p> <p><b>【失敗】</b>  上記成功以外。</p>
ガレージイン	<p><b>【成功／失敗】</b>  <u>全国ルール</u>と同じ。  南関東地区大会での壁接触の判断は、ガレージの壁が移動したかどうかで判断します。</p> <p><b>【チャレンジ有】</b>  ガレージに接触しても壊してもかまわないが、走行体の一部がガレージ枠内に入った（静止しなくともよい）。</p>	<p><b>【成功】</b>  左記と同じ  アウトコースまたはインコースのどちらか一方のガレージインを確認します。インコースとアウトコースは形状が同じであるため、他方を「見なし成功・見なし失敗」と判断します。  当該コースの指定ガレージ</p> <p><b>【失敗】</b>  上記成功以外。</p>
フェールセーフ	<p><b>【事象の発生あり】</b>  競技中または競技後に、走行体が転倒した。</p> <p><b>【事象の発生なし】</b>  上記の事象の発生あり以外。</p> <p><b>【機能した】</b>  モータが 2 秒以内に停止した。</p> <p><b>【機能せず】</b>  モータが 2 秒以内に停止しない。</p>	<p><b>【成功】</b>  左記の事象の発生あり、機能した、の両方を確認した。  走行体が倒立中に、任意のタイミングで、走行体に指示を与えることなくコースから取り上げモータが 2 秒以内に停止した場合も、成功と判断する。</p> <p><b>【失敗】</b>  上記成功以外。</p>

## 7. チェックシート

【 実行委員会保管 】

チーム名：					
難所	モデル図 表明	試走会2 振る舞い 確認	確認者	試走会2 振る舞い 確認	南関東 地区大会 結果
ルックアップ ゲート		通過			
E T相撲		所定A			
		所定B			
		所定C			
シーソー		シングル 通過			
		ダブル通過			
階段		通過			
ガレージイン In コース		イン・停止 見なし成功			
ガレージイン Out コース		イン・停止 見なし成功			
フェールセーフ		転倒/ モータ停止			in
					out
ベーシックステージ 35秒/40秒未満 イン：26.4秒 アウト：27.2秒	-	イン			
		アウト			
試走会2 署名 上記判定に相違ありません：					
南関東地区大会 署名 上記判定に相違ありません：					

【 チーム控え 】

チーム名：					
難所	モデル図 表明	試走会2 振る舞い 確認	確認者	試走会2 振る舞い 確認	南関東 地区大会 結果
ルックアップ ゲート		通過			
E T相撲		所定A			
		所定B			
		所定C			
シーソー		シングル 通過			
		ダブル通過			
階段		通過			
ガレージイン In コース		イン・停止 見なし成功			
ガレージイン Out コース		イン・停止 見なし成功			
フェールセーフ		転倒/ モータ停止			In
					out
ベーシックステージ 35秒/40秒未満 イン：26.4秒 アウト：27.2秒	-	イン			
		アウト			
各欄への記載事項 モデル図表明：あり/なし 試走会2振る舞い確認：○/- 南関東地区大会結果：成功/失敗/リタイア/チャレンジ有/機能した/機能せず					

## 8. 例

## 例1 アウトコース(1)

状況：アウトコース・ベーシックステージ完走。ボーナスステージは、ルックアップゲート通過、ET相撲で失敗。

難所	モデル 図表明	試走会2 振る舞い 確認	南関東地区 大会 チャレンジ	結果	係数	難所成功時 ボーナス秒	結果	参考	全国ルール 適用結果	
ルックアップゲート通過	あり	○	あり	成功	1.5	10	15	成功しているが、ET相撲でリタイアしたため、ボーナスステージリタイア時の係数1.5を適用	10	
ET相撲 所定A	あり	○	あり	失敗	-	(押し出し) 25 (押し倒し) 15 失敗 7	7	ET相撲の失敗時のポイントは7秒。ただしポイント付与条件を満足していること。	0	
ET相撲 所定B		○								○
ET相撲 所定C		○								
ガレージイン・アウトコース停止	あり	○	あり	-	0.5	5	2.5	表4「リタイア後の評価対象振る舞いの評価方法」を適用	0	
シーソーシングル通過	あり	○				10		アウトコース難所のため対象外		
シーソーダブル通過	あり	○				20		アウトコース難所のため対象外		
階段通過	あり	○				15		アウトコース難所のため対象外		
ガレージイン・インコース停止	あり	○				5		アウトコース難所のため対象外		
フェールセーフ	あり	○	事象発生	○	1	5	5	ET相撲で失敗し転倒	0	
ベーシックステージ インコース 26.4秒	あり	○			-	10		アウトコース難所のため対象外		
ベーシックステージ アウトコース 27.2秒	あり	○	(27.2)	○	-	15	15		0	
						計	44.5		10	

## 例2 アウトコース(2)

状況：アウトコース・ベーシックステージ完走。ボーナスステージは、ルックアップゲート通過、ET相撲（押し出し）、ガレージイン成功。1分30秒未満

難所	モデル 図表明	試走会2 振る舞い 確認	南関東地区 大会 チャレンジ	結果	係数	難所成功時 ボーナス秒	結果	参考	全国ルール 適用結果	
ルックアップゲート通過	あり	○	あり	成功	2	10	20	成功	10	
ET相撲 所定A	あり	○	あり	成功	2	(押し出し) 25 (押し倒し) 15 失敗 7	50	ET相撲の失敗時のポイントは7秒。ただしポイント付与条件を満足していること。	25	
ET相撲 所定B		○								○
ET相撲 所定C		○								
ガレージイン・アウトコース停止	あり	○	あり	成功	2	5	10		5	
シーソーシングル通過	あり	○				10		アウトコース難所のため対象外		
シーソーダブル通過	あり	○				20		アウトコース難所のため対象外		
階段通過	あり	○				15		アウトコース難所のため対象外		
ガレージイン・インコース停止	あり	○				5		アウトコース難所のため対象外		
フェールセーフ	あり	○	事象なし	—	1	5	5		0	
ベーシックステージ インコース 26.4秒	あり	○				10		アウトコース難所のため対象外		
ベーシックステージ アウトコース 27.2秒	あり	○	(27.3)	○	—	10	10		0	
						計	95		40	

## 例3 インコース(1)

状況：インコース・ベーシックステージ完走。ボーナスステージは、シーソーダブル通過宣言したが失敗。転倒リタイア。フェールセーフ機能した。

難所	モデル 図表明	試走会2 振る舞い 確認	南関東地区 大会 チャレンジ	結果	係数	難所成功時 ボーナス秒	結果	参考	全国ルール 適用結果	
ルックアップゲート通過	あり	○				10		インコース難所のため対象外		
ET 相撲 所定A	あり	○				(押し出し) 25 (押し倒し) 15 失敗 5		インコース難所のため対象外		
ET 相撲 所定B		○								○
ET 相撲 所定C		○								
ガレージイン・アウトコース停止	あり	○				5		インコース難所のため対象外		
シーソーシングル通過	あり	○	—	—	—	10	0	ダブル通過宣言のため対象外	0	
シーソーダブル通過	あり	○	○ (宣言あり)	失敗	0.5	20	10	・ ダブル通過の宣言あり。 ・ 競技規約 P22 の②から③までの途中の振る舞いあり。	0	
階段通過	あり	○	—	—	0.5	15	7.5	<a href="#">表 4</a> 「リタイア後の評価対象振る舞いの評価方法」を適用	0	
ガレージイン・インコース停止	あり	○	—	—	0.5	5	2.5	<a href="#">表 4</a> 「リタイア後の評価対象振る舞いの評価方法」を適用	0	
フェールセーフ	あり	○	事象発生	○	1	5	5	シーソー通過で失敗し転倒	0	
ベーシックステージ インコース 26.4 秒	あり	○	(26.4)	○	—	15	15	走行タイムが基準タイムと同じ	0	
ベーシックステージ アウトコース 27.2 秒	あり	○						インコースのため対象外		
						計	47.5		0	

シーソーダブル通過の宣言をしても、シングルの振る舞いであれば、シングル通過として成功/失敗を判断します。

## 例4 インコース(2)

状況：インコース・ベーシックステージ完走。ボーナスステージは、シーソーダブル、階段、ガレージインのすべて成功。1分30秒未満

難所	モデル 図表明	試走会2 振る舞い 確認	南関東地区 大会 チャレンジ	結果	係数	難所成功時 ボーナス秒	結果	参考	全国ルール 適用結果	
ルックアップゲート通過	あり	○				10		インコース難所のため対象外		
ET 相撲 所定A	あり	○				(押し出し) 25 (押し倒し) 15 失敗 5		インコース難所のため対象外		
ET 相撲 所定B		○								○
ET 相撲 所定C		○								
ガレージイン・アウトコース停止	あり	○				5		インコース難所のため対象外		
シーソーシングル通過	あり	○	—	—	—	10	0	ダブル通過宣言のため対象外	0	
シーソーダブル通過	あり	○	○ (宣言あり)	成功	2	20	40	・ ダブル通過の宣言あり。 ・ 競技規約 P22 の②から③までの 途中の振る舞いあり。	20	
階段通過	あり	○	—	成功	2	15	30		15	
ガレージイン・インコース停止	あり	○	—	成功	2	5	10		5	
フェールセーフ	あり	○	事象なし	—	1	5	5		0	
ベーシックステージ インコース 26.4 秒	あり	○	(26.5)	—	0	10	10		0	
ベーシックステージ アウトコース 27.2 秒	あり	○						インコースのため対象外		
						計	95		40	

## 補足 その他の係数と結果

難所	モデル 図表明	試走会2 振る舞い 確認	南関東地区 大会 チャレンジ	結果	係数	難所成功時 ボーナス秒	結果	参考	全国ル ール適 用結果	
ルックアップゲート通過	あり	○	なし	—	0.1	10	1	ルックアップゲートを回避	0	
ET 相撲 所定A	あり	○	なし	—	—	(押し出し) 25 (押し倒し) 15 失敗 5	1	ET 相撲を回避	0	
ET 相撲 所定B		○								○
ET 相撲 所定C		○								
ガレージイン・アウトコース停止	あり	○	なし	—	0.1	5	0.5	ガレージインを回避	0	
シーソーシングル通過	あり	○	あり	成功	2	10	20	シーソーシングル通過成功	10	
シーソーダブル通過										
階段通過	あり	○	あり	失敗	0.5	15	7.5	階段通過失敗	0	
ガレージイン・インコース停止	あり	○	あり	成功	2	5	10	ガレージイン成功	5	
フェールセーフ	あり	○	事象発生	機能 せず	-1	5	-5	表 5中の「信頼性の極端な低下」に該当	0	
ベーシックステージ インコース 26.4 秒	あり	×	—	—	0	10	0	試走会2で確認できていないのでタイムアタックポイント評価対象外	0	
ベーシックステージ アウトコース 27.2 秒	あり	×	—	—	0	10	0	試走会2で確認できていないのでタイムアタックポイント評価対象外	0	
当該難所	あり	○	あり	成功	1.5			ボーナスステージを1分30秒以上2分以下でゴール	0	
当該難所	あり	○	あり	成功	1.5			当該難所成功しているが、つぎの難所などでリタイアしたため、ボーナスステージリタイア時の係数1.5を適用	0	

## 9. 改版履歴

版数	日付	更新内容
1.00	2011年9月2日	・初版